

施策No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	下水道課	主管課長名	
5-5	施策名	下水道の整備	関係課	生活環境課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	市民	①桜川市人口	見込値	人		37,653	37,269	36,885	36,500	35,897
実績値						37,653	36,794	36,120		
②桜川市世帯数			見込値	世帯		13,572	13,547	13,522	13,497	13,497
						実績値	13,572	13,503	13,550	
③生活排水処理普及率			見込値	%		69.85	70.90	71.4	71.9	72.0
						実績値	70.80	71.03	71.62	
		④公共下水道普及率	見込値	%		16.06	16.3	16.5	16.8	17.0
						実績値	16.95	17.3	17.8	
		⑤公共下水道接続率 農業集落排水接続率	見込値	%		61.08	63.30	65.55	67.80	70
						実績値	83.90	85.10	86.30	87.50
⑥公共下水道使用料収納率 農業集落排水使用料収納率		見込値	%		79.61	82.68	85.29	99.49	99.5	
					実績値	99.47	99.48	99.49	99.49	99.5
	見込値	%		99.02	99.03	99.04	99.04	99.05		
				実績値	99.43	99.29	99.20	99.04	99.05	
	見込値			99.01	98.99	99.02				
				実績値						

成果指標設定の考え方 ○「快適で衛生的な生活環境で暮らしている」の指標については①生活排水処理普及率の指標が上がれば成果が上がると考えられる。

成果指標の把握方法と算定式等 ○対象の人口、世帯は、毎年10月1日の常住人口。
○①生活排水処理普及率、②公共下水道普及率、③公共下水道接続率・農業集落排水接続率は、生活排水ベストプランより求める。④公共下水道使用料収納率・農業集落排水使用料収納率は、過去の実績より求める。

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	

背景要因
生活排水処理普及率は、令和5年度71.03%、令和6年度71.62%と0.59ポイント増加した。
公共下水道を対象とする下水道普及率は、令和5年度17.3%、令和6年度17.8%と0.5ポイント増加した。
公共下水道接続率は、令和5年度64.56%、令和6年度64.31%と0.25ポイント減少した。農業集落排水接続率は、令和5年度82.68%、令和6年度85.29%と2.61ポイント増加した。これらの要因として、公共下水道・農業集落排水ともに接続工事費補助金の要件緩和によるものと思われる。
公共下水道使用料収納率は、令和5年度99.29%、令和6年度99.20%と0.09ポイント減少した。農業集落排水使用料収納率は、令和5年度98.99%、令和6年度99.02%と0.03ポイント増加した。
昨年度と比較して各指標の数値は、やや減少しているものもあるがどちらかといえば向上している。

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	

背景要因
生活排水処理普及率は、令和6年度目標値が71.4%に対し、71.62%と0.22ポイント上回った。
公共下水道普及率は、令和6年度目標値が16.5%に対し、17.8%と1.3ポイント上回った。
公共下水道接続率は、令和6年度目標値が65.55%に対し、64.31%と1.24ポイント下回った。
農業集落排水接続率は、令和6年度目標値が86.30%に対し、85.29%と1.01ポイント下回った。
公共下水道使用料収納率は、令和6年度目標値が99.49%に対し、99.20%と0.29ポイント下回った。
農業集落排水使用料収納率は、令和6年度目標値が99.04%に対し99.02%と0.02ポイント下回った。
生活排水処理普及率と公共下水道普及率は目標値を達成した。接続率は下回ったものの、収納率はほぼ横ばいと捉えており、ほぼ目標値どおりの成果であったと考えられる。

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で以下の事業が大きく貢献したと考える。 公共下水道接続推進事業は、新規整備区域により接続率は下がったものの、引き続き県と合同で戸別訪問を行うなどし、接続率向上に取り組んでいく。 公共下水道整備事業は、富士見台地区の整備を行い下水道普及率が向上した。</p>	<p>下水道事業の効率的で健全な事業運営に努め、以下の取り組みを重点的に行う。 公共下水道事業・農業集落排水事業とも接続工事補助金の周知、推進活動を行い接続率の向上を図る。</p>